

議会広報広聴委員会記録

令和6年8月9日（金）
10時00分～10時50分
第1委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

議題

1 はまだ議会だよりのレイアウト変更について…………… 資料1

(1) レイアウトの見直し

(2) その他

2 ぎかいポストの取扱いについて…………… 資料2

(1) ぎかいポストの取扱い

(2) その他

3 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00 分 開議]

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を始める。本日出席者10名ということで定足数に達している。

1 はまだ議会だよりのレイアウト変更について

(1) レイアウトの見直し

○村武委員長

資料1を参照されたい。はまだ議会だより（以下、議会だより）のレイアウトについて以前委員から、議会だより紙面見直し案の意見をいただいた。それを踏まえて今回正副委員長と事務局とで考えたので議題に上げさせてもらった。

皆からいただいた意見の中で、一般質問の紙面を少し見直してみてもどうかという案をいただいていた。議会だより全体を見直すのは今はなかなか難しいと考えており、できるところからということで今回は一般質問の部分を考えてみた。

出雲市議会の議会だよりは内容はほとんど書かれておらず、写真と二次元バーコードを載せているが、ここまでするのもどうかと思う。今回は私と副委員長の案とで作ってみた。それほど多くの文字数ではないがポイントを書き、二次元バーコードは全体のもを一つ載せて、そこからYouTubeで見たい議員の一般質問を見ていただくようにしたらどうかと考えた。これをやれば紙面は大体2ページ半ほど減ることになる。紙面を減らすことが目的ではないが、YouTubeを見てももらったほうがより詳しく理解していただけるのではないかとということで、このように考えた。

これに関して皆から意見をいただけたらと思うがいかがか。

○川上委員

二次元バーコードで案内する方向性もなきにしもあらずとは思いますが、実際どのような質問をしているかが紙面から見えない。回答も見えない。それだけを期待している人もいるし、全ての方が二次元バーコードから見られるわけではないので、議会としてやさしさがないのではないか。

○村武委員長

今までのような形が良いということか。

○川上委員

やるなら倍くらいあっても良いと思う。そのほうが実際に議会が何をしているか見えやすい。二次元バーコードからは見ないのでと思う。

○村武委員長

ほかの皆はどうか。もちろん今日結論を出すわけではなく、持ち帰って会派で話し合ってもらって意見を聞かないといけないとは思っているのだが、委員からの意見を今日少し伺いたい。

○川上委員

このような形でどうかということ、住民にも聞いてみる。住民のための議会だよりであり、議会のための議会だよりではないので。

○村武委員長

今までと内容が少し変わってくるので、ここは皆の意見を伺いたい。

○沖田委員

これでページ数が2ページ半浮くと言われたが、浮かす理由は何か。それ以上にもっと必要なことをやりたいからここを削らせてほしいというなら仕方ない気はするが、ただ何の当てもなく漠然と2ページ半浮かすために削るといのはいかがなものか。

○村武委員長

限られた予算を有効的に使うということで、今よりページ数を減らすことを考えるのも必要なかと考えている。

○沖田委員

限られた予算でというのはごもっともな意見かと思う。だとしたら、1冊の中でこれを削るのか、あるいは違うところを削るのかという議論をするべきかと思う。

○村武委員長

見直し案を出し合ったときに、一般質問の削減という提案をいただいていたので今回このように考えてみた。

○三浦委員

今沖田委員が言われた視点が大事だと思う。議会だよりは何のために発行して、どのような情報を優先的に掲載するのか。再現なくページを増やしていくことは到底難しいし、限られた予算の中で何を議会として伝える必要があるのかを考えていったときに、今回は正副委員長から一般質問部分の削減案が上がってきた。その理由はしっかり前提として理解しておく必要がある。

私が前委員長を務めさせてもらったときにも、一般質問の原稿ボリュームを半分くらいに減らした。もちろん皆と協議して合意を得た上で。そのときには議会だよりの中に委員会活動をお知らせするページもなかったし、議会全体としての活動がほぼ議会だよりからはうかがえなかったという現状があった。議会のたよりだから、もちろん個人一般質問で個々の議員がどういった視点で執行部に対して意見を述べ質問しているかは議員活動のハイライト的な部分でもあるし、重要な部分だとも思うが、それだけでもないということを前提にページ構成を考えていった経緯があったかと思う。したがって今回も、改めて今の議会だより全体最適をするという考えにのっとってどういったボリューム感、ページ構成が良いのかという議論をしていかないといけない。

その前提に立って言えば、個人一般質問は定例会議ごとに年4回であるが、委員会活動は通年でずっと行われていて、今は議会だより m i n i も毎月発行しているので、それが本紙を補完するような形で委員会活動のレポートの場になっているが、もっと委員会の動きをお知らせする必要もあると思うし、議会としての取組についてももっとボリュームを増やして深掘りして伝えていく。あるいは市民も注目されているような

テーマに対して、個々の議員がどのように考えているかといった新しい企画をやっていくというのも一考すべき価値はあるのではないかと個人的には思っている。

浜田市議会の個人一般質問は毎回ほぼ全員やっており、それは素晴らしいことだと思う。しかし一方で議会だよりに関して言えば、多くの紙面を割いている現実がある。議会だよりというもので、どのような情報を発信すべきなのか優先順位を協議する機会にされるのが良いのではないかと思っている。

逆に今回改めて提案されるに当たって、正副委員長が今の議会だよりに対してどのような現状と改善したい点という、もう少し前提となる大きな考えを改めて聞かせてもらっても良いか。

○村武委員長

今まで議会だよりを変更してきたことで、市民からはすごく分かりやすくなったという意見をたくさんいただいている。しかし先ほど三浦委員も言われたように一般質問にかなりのボリュームが割かれている。ここをもう少し減らすことができると良いとは考えた。私自身もそれを感じているし、委員からもそういった提案があったということで、今回このような提案をさせていただいた。しかし、これだけでは分かりにくいと市民が思われるなら、そこは今までと同じようにしていかないといけないのかもしれないし、そこは委員からいろいろな意見を伺いたい。

○村木副委員長

私も今回一般質問にある程度の見直しを入れた大きな動機としては、一般質問自体多くの議員から多岐にわたる項目から市の姿勢を問うている。議会だよりだとその中から一つのテーマしか載せられない。もちろん紙面を増やしたい思いもあるが予算の都合もあるので、私としてはより多くの各議員の思いを項目という形で皆に伝え、特に伝えたいものはこれで、詳細についてはY o u t u b eに飛んでいただければと思った。

一般質問が20分から30分になり、より広い範囲で市政に対する意見や提言ができるのは議員としてもチャンスだと思っているので、より多くの方に見てもらいたい。ただ、もちろん川上委員から意見があったように、二次元バーコードが読み取れない方もおられるというのは否めない。しかしどうかこれを広めることによって、生の声を皆に聞いていただければという思いで今回の案を出した。

もう1点、経費のこともある。今は物価高騰で、また議会だよりは一般財源であることもあって限られた予算でスタートとなっている。予算を上げればという話もあるが、何をやるかという話もある。まずは今ある予算の中で物価が上がっても今の議会だよりが市民に届けられるような予算編成も考えねばならないとなると、何らかのページ削減も意識しなければとは思っている。そういったことから今回一般質問とDXを兼ねた二次元バーコードを提案させてもらった。

市民対談は、ほかの議会広報にはない良いページだと思っているし、委員会のことも確かに言われてみれば前はなかったかもしれないが、今は委員会活動レポートも各委員会にコメント作成を依頼して委員会として出してもらっているので、委員会活

動を重視している浜田市議会としても今までどおりやり続けていきたい。

○川神委員

以前は個人一般質問は個々の思いを紙面で言っている流れもあって、全体総括で議会の意志がどこにあるのかや、市民に何を伝えるかといった議論があまりなされてなかった。それから改革もされて、やはり議会だよりは単に事実を伝えるのではなく、現在の議会がどのような意志を持っているのか、この問題をどう考えているのかといったことなど、隙間を埋めていくのが議会だよりだと思っている。

今回政務活動費などでも広報の話が出ているが、個人の責任の下に自分をきちんとアピールするものもある。今回の提案が悪いとは思わないが、論点とすると例えば軽費削減が非常に大きなウエイトを占めていたのか、内容をしっかり見てもらいたいから二次元バーコード等を利用したいのか、もしくは新しい企画をもっと増やしていく、例えばいろいろな土地購入の話があったときに市民には流れやプロセスがどうなっているか分からないので、議会がどのような論点で現在やっているのか、何を追い掛けていくか、今からいろいろなことに取り組みねばならないので、そういったところへ紙面を有効活用するために、よりコンパクトにしていくのが良いのか。どこに軸足を置いて議論しているのか。川上委員が言われるように年齢層などいろいろなことがあるので、今の形をベースにしながら二次元バーコードを導入して移行していく方法もある。しかし何のためにやるのか、この委員会の共通認識の中で進めていかないといけない。何をメインにするからこれをするのだというものがないと、なかなか先へ進まない。さらに議論を深めていかないといけないのではないか。

○村武委員長

まさしく言われるとおりだと思う。経費のことばかりを大きく取り上げるつもりもないが、現実としてそのところもあると思う。ただ、今回こうして二次元バーコードからY o u T u b eに飛んでもらって、そちらでより理解してもらいたいということ提案したのは、先ほど副委員長も言ったが、DXを考えたり、高齢者で苦手な方もおられるとは思いますが、最近はスマホが使われたりY o u T u b eを見られる方も増えてきていると思うので、そこは私たちが新しい使い方を伝えることができるのではないかと考えている。議員皆の一般質問をより深く知ってもらうため、Y o u T u b eで理解していただきたいというのが大きな動機だと考えている。

○三浦委員

議論を広げるようで恐縮だが私は個人的に、議会ホームページはリニューアルすべきだといまだに思っている。先般P O T E T Oの代表者の研修もあったが、若い方にどうやって情報を届けていくかも一方で考えていかなければいけない。文字文字していると言われたが、やはり表面的に文字が多い。そういうビジュアル面も含めてリニューアルしていく必要があると思う。そうすると、個人的には予算要求してほしい気持ちはあるが、なかなか議会費を増やすことも難しい状況でかなってない。そうであれば、議会だよりなど我々が行っている広報活動の予算をうまくやりくりして、議会ホームページリニューアルに向けていくことも考えていかないといけない。これは

予算の議論だと思うが、そうした全体的な広報活動をどのように見直すかというきっかけにもなるのではないかと思う。単純に今16ページある紙面を減らしていけば、印刷代は下がる。物価高騰でそれを仮に減らしたとしても印刷代が変わらないかもしれないが、そうした努力も一方でしながら、別の方面もやる。私個人的にはそうあってほしい。予算配分はそのように考えていきたい。

○村武委員長

今日私たちが提案したものが本当に完璧なものとは考えていないので、そこに対して皆の意見を伺いたい。本日は次の予定もあるので時間をたくさん割くこともできないが、一応皆から意見を伺えたらと思う。まだ発言してない方から。

○肥後委員

二次元バーコードの読み込みさえできれば逆にYouTubeは高齢者にやさしいと私は考える。というのが、紙面だと読みづらくてもひたすら読むしかないが、YouTubeだと音声が出るし再生速度や画面の大きさを調節できるし、字幕も入れられる。本当に興味があって見たいのであれば、そのほうがより多くの人にやさしい情報提供になると思う。紙面を少なくすることも考えられるが、二次元バーコードはそれほど場所を取らない。悪い言い方をすれば個人一般質問は21人の議員がいろいろな提案をされるが、読み手にとっては興味がないことも当然ある。それも同じ費用で紙面を使うのであれば、こういうことを質問したとだけ書いてあって答えまで興味がない必要ないという方も当然おられるだろうが、そういう声は多分今まで届いていない。そういった面を加味すると出雲市議会の紙面構成は、なるほどと思った。YouTubeのほうが詳しく知れるので良い活用方法だと思った。

○西田委員

出雲市議会の二次元バーコードで読み取る形は、それはそれで良いと思うが、見る人によって見方がいろいろあると思う。まともに1時間全部見られるとは思いますが、1時間見て感じるのと、その中で議員個々の思いや考えが見た人にストレートに伝われば良いが。個々の議員が、自分が一番言いたいこと聞きたいこと訴えたいことを簡潔にポイントを絞って書いているのは、一番伝えたいことが伝わって見やすく良いと思う。あまり文字がたくさんあるわけではない中で、二次元バーコードが少し付いていけばなおさら良い。ホームページを見て議会だよりを見れば、当然YouTubeも見られるが、二次元バーコードだともっと素早く見られる。今までの形に二次元バーコードが付いていけば、もう少し進歩する気がする。

○村武委員長

今までも二次元バーコードは付いている。

○西田委員

確かに市民に対して、二元代表制の議会活動や議員個々のいろいろな考えや思い、市とのやり取りを伝えるのは極めて大事なことなので、本当は議会だよりの予算をどこかでもう少し捻出してでもという気持ちもある。議員が市政を問う一般質問の、こういう紙面も本当はもう少し簡潔に、議員の言葉で今までのように載せることも大事

なことのような気もする。ただ二次元バーコードで見てくれではなく、両面でいくのが良いのではないか。

○上野委員

うちのほうはケーブルテレビに皆入っているので、何かあれば電話がある。果たして議会だよりを住民は見ているのか、特に高齢者は議会だよりを見ているのかが心配である。それを見てもらえるようにするのが役割なのだが。若い方にはできるだけ勧めるよう言うが、高齢者に二次元バーコードを勧めるのは難しいものがある。ごみ収集場所に行くと、市報や議会だよりが結構ごみに出されている。読んでおられるのだろうかと感じる。何かあればケーブルテレビを見て連絡が来る。

○大谷委員

方向性については理解できるが、先に予算面から言えばページ数だけでなく紙面の質ということも意見の中に、紙質が良すぎることや全面カラーになったことの指摘があった。見栄えもあるかもしれないが、経費を考えるのであれば一考しておいたほうがよろしい気がした。

内容については、議会として伝えたいことということで、これまで進化してきているのは分かっているが、その中で何を伝えたいかについては紙面構成を考える上で重要な面がある。市民からすると、委員会で活動していることと議員活動と、どちらに関心を持つだろうか考えると、やはり知っている議員の活動を見るのではないかという気がする。方向性は理解するが、市民の関心度という面からすると、その辺は意見を聞きながら持っていったらと思う。つまり、全体の市政を考えて各議員が発言しているので、そこにどういう関心事があるのかを示す意味で、今の紙面でも良いし、提案のあった項目も捨てがたい。

○村武委員長

皆から一応意見をいただいた。こちらもいただいた意見を考えながら、また検討していきたいとは思いますが、皆も会派や市民の意見を聞いてもらいたい。それが全て反映できるかはまだ分からないが、もう少し時間を掛けて考えていきたい。よろしく願います。

議会だよりについては以上でよろしいか。

(「はい」という声あり)

2 ぎかいポストの取扱いについて

(1) ぎかいポストの取扱い

○村武委員長

今はぎかいポスト（以下ポスト）を各まちづくりセンターに設置して市民から意見をいただいている。この前段階として議会だよりを使ってアンケートを取っていたが、アンケートではなく広く意見を伺いたいということで、現在の形になっている。ただ、ポストでいただいた意見の対応方法も考えていかないといけないといった意見を、委員や議員からいただいているかと思うので、この部分を考えていったらと考え

ている。ただ、陳情や地域井戸端会やはまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）のように市民から意見をいただく機会はいろいろあるので、そこと併せて議論していかなければいけないと考えている。

以前、意見の取扱いということで事務局にまとめてもらっていた資料を配信した。これは少し前のものなので2番と3番が変更にはなっているが、広聴機能における意見の取扱いについてまとめられている。先ほども言ったが陳情の取扱いなどにも少し影響を及ぼすかと思うが、ポストに寄せられる意見の取扱いについて、皆から意見があれば伺いたい。

○三浦委員

ポストに寄せられる意見の何についてか。

○村武委員長

取扱いについて。議会だよりに結構丁寧に返事を掲載しているが、それで良いのかどうか。先ほどの議会だよりの紙面構成にも通じるところだが、今は議会だよりの紙面も割いているので、そこにも関係する。今までのようにポストでいただいた意見をきちんと委員会に振り分けて回答を作り、議会だよりまたはホームページで報告する形を今後も続けていったほうが良いか。これも今日決まるわけではないが、皆の意見を伺いたい。今までと同じような形で良いと思われるか。

○三浦委員

今、議会だよりでポストに寄せられた意見を返しているが、経緯としては読者アンケートがあり、それは紙面で意見を伺っているから紙面で返すというやり取りの流れがあると思う。ポストにいただいた意見あるいは議会なんでもメールにいただいた意見といったもの、多岐にわたると思うが、必ずしも議会だよりの紙面で返答しなくても。ただ、いただいた意見に対してどのように取り扱ったかは、陳情の取扱いなどでも出ているが、議会のスタンスとしては、いただいた意見に何かしらの返答をするのが丁寧な対応なのかと思う。ポストに意見が入っているかどうかの確認は我々行っているが、前回入っていた意見に対しては、例えば回答をそこに貼り出す。今は地域井戸端会で出た意見に対してもそのような形で、まちづくりセンターへの貼り出しをもって回答とさせてもらっている。そこは一貫してそのようにするのも、ご理解いただける形ではないかと思う。

○川上委員

ポストに入っている意見自体が少ないので、先ほど三浦委員が言ったように、そのポストがある場所にコメントするだけでも良いと思う。議会だよりに特段載せなくても。

○村武委員長

ホームページにも載せてはいる。ホームページは全ての返答をしている。

○川上委員

まちづくりセンターに貼り出す形で良いと思う。

○西田委員

ポストにも意味はあるが、あまり意見は入ってない。大体そういう想定くらいで。それともポストをもう少しPRしなければいけないか。もう少し住民へ何らかのアクションが必要なかどうか。今の状態でいくと、ポストへの投函はなかなかないので、どうかと思う。

○三浦委員

確かに毎月入っていることもあるが、入ってないときのほうが割合的には多いかもしれない。先ほどの一般質問の二次元バーコードの話でも出たが、ネット環境から情報を取るのに不慣れな方に対して、紙面での情報発信も必要ではないかという意見もあったと思う。メールしか声を届ける手段がないとしたら、そうではなくアナログ的にまちづくりセンターに設置したポストに手書きで書いて、いつでも投函できるという機能を持たせておく。あえてなくさなくても良いのではないかという気持ちはある。思ったことは直接議員に連絡される方もおられるし、中には匿名で投函したい方もおられると思う。一つの場所としてポストを置いたり、議会なんでもメールをいつでも受け付けるということを用意しておくのは良いと思う。

○西田委員

それは理解する。ぎかいポストと書かれた結構目立つ箱がまちづくりセンターに置いてあるだけでも、議会広報の一つだと思う。

○三浦委員

西田委員が指摘されるように、その存在を知らない方々がまだ多くおられるとすれば、議会としてこういうものを設置しているので何かあればぜひ使ってくれとか、まちづくりセンターの利用者が職員と話をされる際に、ポストがここにあるから入れておいたらと勧めるなど存在を知らせていただくなど、そういう活動は課題として必要だと私も思う。

○西田委員

まちづくりセンターの入り口に1枚貼ってあるよりも箱の存在感があるし、ぎかいポストと大きく書かれているのも議会を意識付けるきっかけになる。

○村武委員長

ポストのPRも必要だとは思う。いただいた意見の扱い方については、ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

ポストの扱いについても今後の陳情の取扱いにも関係してくるかとは思っているので、今日結論を付けることは考えていない。またこちらも、皆で考えて今後意見をいただけたらと思う。

(2) その他

○村武委員長

ポストについてほかに意見はないか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○村武委員長

先日7月30日にオンライン研修会をさせてもらった。多忙な中出席した委員に感謝する。2名ほど参加いただいた。その日に欠席された方は動画を見てもらったかと思う。それを見た所感を皆に出してもらっている。今日は時間がないので深掘りができないが、ほかの委員の考えなども見ていただき、またこれからどうすれば良いのか考えていきたい。次回委員会で議論していきたい。一読をお願いします。オンライン研修に当たっては、SNSについてやったらどうかという提案があったので、それも踏まえてのオンライン研修だった。そちらも皆から意見を今後いただきたいので、考えておいてもらいたい。よろしいか。

○川上委員

所感は7人だけか。

○村武委員長

まだ提出されてない方が3名おられる。まだの方は出していただきたい。
そのほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

では今後の会議開催日程なのだが、事務局から説明をお願いします。

○村山書記

次回の開催予定は8月26日月曜日の13時30分から予定させてもらっている。内容としては議会だよりmini32号と議会だより75号のレイアウト、市民一日議会、ポストに寄せられた意見の振り分け、今後の広報活動についてを予定している。

○村武委員長

皆の予定はよろしいか。

(「はい」という声あり)

ほかになれば、委員会を閉じてもよろしいか。

(「なし」という声あり)

では、以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[10時50分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ